

資料2

精神障害のある方の製造業以外の職域における就労に関する調査票

ID 番号	
----------	--

個人属性	性別 男女	年齢 歳	病名	躁鬱病・統合失調症・てんかん その他 ()	職歴	有 (発病前)・有 (発病後) ・不明
就労状況	雇用形態	1. 正社員 2. パート (就職時 週 日//1日 時間 程度 時給 円) 3. その他 ()				
	仕事の内容					
	勤務年数	年 ヲ月	現 状	継続勤務中・休職中・離職・不明・その他 ()		
	適応状況 ・課題等	症状： 1 2 3 4 5 適応状況： 1 良好 (特に課題なし) 2 配慮必要事項が生じている 3 離職 配慮必要事項 (離職の場合は離職原因)： 1 3 5 () 2 4 6 ()				
事業所情報等	業 種					
	障害者の雇用経緯	1. 精神障害者の雇用経験あり。 2. 精神障害以外の障害者の雇用経験あり。 3. 障害者の雇用の経験なし。 4. 不明。				
	事業所・職務の特徴等	事業所の特徴： ①事業所規模 () ②事業所種類 () その他 () ③障害者従業員数 () ④健常者従業員との交流 (1 ほとんどない 2 挨拶程度 3 仕事に関する交流がある 4 日常的に多様な交流がある) 職務の特徴： () その他の特徴 () 就職当初の支援担当者： () その他 () 就職当初の支援方法： () 異なった点 ()				
配慮事項の状況	1. 人的サポート・雇用管理面について			3. 勤務時間・勤務形態について		
	外部援助者が継続的に支援している ()			本人の希望にそったパートタイム勤務である		
	外部の援助者に随時相談できる			通院のための休みがとれる		
	向上が見られた場合に誉める			交替要員の配置等により短い休憩がとれる		
	仕事のスケジュールがうまくたてられるよう支援している			グループ就労である		
	作業の進め方等を説明した資料が用意されている			<その他>		
	援助者となる特定の同僚が選ばれている					
	上司や同僚の異動を極力避けている					
	上司との話し合いの時間がほぼ定期的にある					
	<その他>			4. 環境面の調整について		
				共用の休憩所が利用可能である		
				集中力回復のために一人になれる場がある		
				他の従業員への障害理解のための情報提供等がされている		
				集中の妨げとなる騒音等の防止策の実施		
				<その他>		
2. 職務内容等について						
職務は徐々に増やしていくこととしている						
職務の変更が極力避けられている						
個人のペースに合わせた仕事量の設定がされている						
本人のやりやすい仕事を組み合わせている			5. その他の配慮事項 (1~4に含まれない事項)			
<その他>						
雇用までの調整事項等	1. 募集の方法					
	2. 連携機関 () その他 ()					
	3. 雇用までの調整事項 ① 関係機関との主な調整事項 () ② 有用であった制度・支援 ()					
	4. 障害者雇用についての意見					
[その他の特記事項等]						